

まつまえ

議会だより



(海苔摘みの様子)

松前冬の風物詩

■第5回臨時会、第4回定例会	P 2～5
■一般質問	
・梶谷議員 [松前病院の今後]	P 6
・油野議員 [生薬・薬草の栽培生産]	P 7
・工藤議員 [医師との信頼関係]	P 8
・西川議員 [健康産業の芽を生み出せ]	P 9
■議会日誌等	P 10

No. 96

平成29年3月1日発行

第5回臨時会

第5回臨時会は、平成28年12月13日に招集され、松前町病院事業の設置等に関する条例及び松前町病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について、専決処分報告についての町長提出案件2件を審議し、同日閉会しました。

条例制定については、規定により、病院事業管理者を病院長としていたものを、病院長に限定しないこととするため、関連する条例の一部を改正しました。専決処分報告の内容は、函館市の小中学校のボイラー用煙突内部でアスベスト含有の断熱材の劣化や剥離が見つかった問題を受け、早急に飛散調査を実施し、飛散防止対策に係る補正予算であり、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億59万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ53億61万円としました。

平成28年度 一般会計補正予算

会 計 名	補正前の額	補 正 額	補正後の額
		52億9,802万円	359万円
	補正額の内容		
一 般 会 計 (第6回) 【専決処分】	○温泉休養センター費		
	修繕料		30万円
	アスベスト調査等業務委託料		29万円
	○学校管理費		
	修繕料		50万円
	アスベスト調査等業務委託料		30万円
	備品購入費		220万円

平成28年

松前町議会《12月20日～21日》

第4回定例会

第4回定例会は12月20日に招集され、補正予算など町長提出案件13件、議員提出案件9件を審議し、21日に閉会しました。

一般質問は、4人の議員が各1問ずつ町長に対して考えを質しました。
(一般質問の内容は、6～9ページに掲載しております。)

一般会計補正予算
に対する主な質疑

問 ICカード乗車券導入
による利便性はあるのか。

政策財政課長 今、町内では100円の大漁くんバスと、その他に松前く木古内線、函館までの快速松前号の二つの路線バス系統があります。ICカード乗車券の導入にあたっては、管内のバスにも導入されますが、町内では、100円バスを除いた2系統の路線に導入されます。渡島町村会の考え方として、新幹線開業に伴い、観光客がバスを利用する機会が多くなるという部分で、ICカード導入により本州、東北方面或いは東京方面で使われているICカードがそのまま道南でも使えるという利便性があり、函館市を中心に導入を進め、渡島町村会としても支援をしていこうという考えから、導入しようとする内容です。



乗車口に取り付けられた
ICカード読み取り機器



降車口のICカード精算機

町長 松前町で公共交通を守っていくことを考えたときに、これからも函館バスとの連携が必要になると思います。現在、松前町の公共交通を守っている函館バスを渡島全体で支援していきたいと考えています。

問 日本脳炎ワクチン接種委託料が当初より増えているのはなぜか。

健康推進課長 日本脳炎ワクチンについては、平成28年の4月から北海道が対象になり、新規事業として予算を計上しました。当初の見込みでは、対象者のうち、およそ30%ほどの接種者がいると予測しましたが、勸奨と町立病院の協力もあり、予想よりも受診率が高く、3歳から3回受けることになりませんが、今のところは50%くらいの方が順調に受けているため、不足を生じる見込みであり、増額補正するものです。

問 郷土資料館入館料の増について、その要因は。

文化社会教育課長 単純に入館者の増によるものです。今年は昨年と比べ、入館者が約5千人増加しています。要因について、まず一つ目には、新幹線開業による影響も間違いなくあったと思われまます。続きまして、入館者約5千人のうち、およそ9割が団体客で、約4千500人増えたと把握しています。これらは、新幹線開業による、各旅行会社等の企画で増えた可能性が高

いと分析しています。その他個人来場者も増加していて、これは、日本城郭協会というところで発行している日本百名城というスタンプラリーの冊子があります。道内では、この冊子に三つの史跡が指定されていて、松前城がその中の一つということであり、北海道で完成という個人のお客様が結構いました。これらの三つが今年の入館者の増の要因だと思っています。



スタンプラリーで使用されている
松前城のスタンプ



内部は資料館として利用されている松前城

問 日本庭園水舞台改修工事請負費について、多額の費用をかけてまで維持する必要はあるのか。

商工観光課長 水舞台をなくした方がいいのではないかと話もありましたが、最終的に、なぜ日本庭園の中にこの水舞台があるのか、なぜこのように作ったかを理解する必要があり、これから松前公園が整備されていく上で、日本庭園という

ポジションもとても重要です。そこに水舞台があるからこそ日本庭園だという思いでなければという結論に達しました。今後はしっかりと管理、手入れをし、これまで以上に作ったものも長持ちさせていけると確信しています。日本庭園の中央にある池、東屋、そして水舞台はなくてはならないものであり、必要があるということですので今回予算を計上しました。



日本庭園



日本庭園内に設置されている東屋



改修工事が予定される日本庭園水舞台

人事案件

◎固定資産評価審査委員会委員
委員
平成28年12月25日をもつ

て任期満了となる固定資産評価審査委員会委員の福島憲成氏（唐津）と木村清韶氏（松城）を引き続き選任することに同意しました。

採択した意見書

- 1 国による子ども医療費無料制度の創設を求める意見書
- 2 国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める意見書
- 3 「高額療養費」後期高齢者の窓口負担の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書
- 4 「全国規模の総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律」の早期制定を求める意見書
- 5 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書
- 6 大雨災害に関する意見書
- 7 JR北海道への経営支援を求める意見書

平成28年度 各会計補正予算

会 計 名		補 正 前 の 額	補 正 額	補 正 後 の 額	
		53億 161万円	8,917万円	53億9,078万円	
主な補正額の内容					
一 般 会 計 (第7回)		○行政情報システム			
		改修業務委託料		274万円	
		備品購入費		218万円	
		○ICカード乗車券導入支援事業負担金		152万円	
		○未来への投資を実現する経済対策臨時福祉給付金		4,080万円	
		○北海道後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金		279万円	
		○平成23年度介護基盤緊急整備等特別対策事業費道費交付金返還金		132万円	
		○子ども・子育て支援施設型給付費		910万円	
		○日本脳炎ワクチン接種委託料		215万円	
		○唐津地区海岸護岸工事請負費		△106万円	
		○公園管理修繕料		350万円	
		○日本庭園水舞台改修工事請負費		335万円	
		○藩屋敷費修繕料		222万円	
		○町道改良用地購入費		280万円	
		○町営住宅管理修繕料		120万円	
		○渡島西部広域事務組合負担金(消防部門)		150万円	
		○学校管理費光熱水費(※学校給食費光熱水費へ)		△196万円	
		○学校給食費光熱水費		196万円	
		○長期債償還利子		△219万円	
		○職員給与費			
勤勉手当		383万円			
住居手当		△101万円			
時間外勤務手当		200万円			
○共済組合負担金		198万円			
一 般 会 計 (第8回)		53億9,078万円	464万円	53億9,542万円	
補正額の内容					
			○松城小学校給排水暖房設備改修実施設計業務委託料	464万円	
特 別 会 計	介護 保 険 (第2回)	【保険事業勘定】	10億1,148万円	△32万円	10億1,116万円
			主な補正額の内容		
		○包括的支援事業・任意事業費			
		職員手当等		△26万円	
	共済費		△20万円		
	備品購入費		22万円		
	【サービス事業勘定】	1,604万円	△3万円	1,601万円	
補正額の内容					
		○勤勉手当	5万円		
		○共済組合負担金	△2万円		
		○退職手当組合負担金	△6万円		
水道 事業 会 計 (第2回)	【収益的支出】	1億9,860万円	51万円	1億9,911万円	
		補正額の内容			
		○総係費(職員給与費)	51万円		
病院 事業 会 計 (第2回)	【収益的収入】	13億1,517万円	△1億1,209万円	12億 308万円	
		補正額の内容			
		○入院収益		△8,543万円	
	○外来収益		△2,666万円		
	【収益的支出】	13億2,252万円	△6,866万円	12億5,386万円	
補正額の内容					
		○給与費	△6,866万円		



梶谷 康介議員

町立松前病院危うし！ 今後に向けての取り組みは？

町 長

院長の構想が可能になるような体制づくりをしていきたい

町長 ①12月6日の八木田副院長との面談の場において、副院長はじめ、3人の先生方が、平成29年以降も引き続き診療していただけることの返事をいただきま

梶谷 色々な経緯経過を経て、町民の命と健康を守る拠点、町立松前病院は極めて厳しい状況下に置かれている。町民は不安を抱え、やがては不満へと変わり、終には為政者に対する不信へと繋がる。町長は一日も早く町民の不安を取り除き安心を与えてやらねばならぬ。現状への対応、今後に向けての具体的取り組みを示すべきと考え、以下について質す。

- 1 院長の後継確保についての取り組みは？
- 2 最低でも現状維持への努力は？
- 3 独立行政法人化の中断と今後に向けて？
- 4 研修医、研究生受け入れと教育研修センターの今後は？
- 5 病院改築に向けての早期取り組みを！

以上について、詳細、明確な答弁を求む！



地域医療教育センターの役割も担う松前病院

した。その後、事業管理者職務代理者として院長職を受けるとの副院長の意向を実現させるために、12月13日には町議会の臨時会を開催し、関係条例改正の議案が議決され、同日午後5時、八木田副院長に病院長辞令の交付をしました。

今後、八木田病院長とよく相談しながら、医師はじめ、医療スタッフ働きやすい環境づくりを進めていきたいと思います。

②院長からは、6人の常勤医師体制であれば、10月以前の診療体制に戻し、かつ研修生を受け入れる体制もできるだろうと聞いています。一日も早く院長の構想が可能になるような体制づくりをしていきたいと思っております。常勤医師、応援医師の確保に、全力で取り組み、そして、10月以前の診療体制に戻すことに最善の努力をしていきたいと思います。

③独立行政法人化については、9月の町議会で中断



という行政報告をしました。今は、10月以前の診療体制確保を最優先として取り組んでいきたいと思っております。

④院長は、今後の病院運営について、前院長を中心に、行ってきた、総合診療医を中心に、専門医と連携したへき地医療を行う病院、医療スタッフを育てるへき地医療研修病院を目指したいという思いが強いようです。院長のその思いを尊重し、何としても地域医療教育センターとして、今後も積極的に医師確保をしなければならぬので、その実現のために協力をしたいと思います。来年

度からは、現在の医師4名体制でも、月1人であれば、札幌医科大学の5年生及び6年生の受け入れが可能であるとの院長の話もあり、これを再開する予定になっています。

⑤改築にあたっての取り組みについても、まずは診療体制、研修の受け入れ体制の構築が急務だという院長の思いを優先させて、協議をしたいと思っております。院長、松前病院の改築検討委員会など関係機関とも連携を図りながら、町民のための病院を目指して取り組んでいきたいと思っております。



油野 篤議員

松前町の風土気候環境に適した生薬・薬草の栽培生産を目指してはどうか！

町 長

松前町における生産やその他条件等を衛生研究所で調査したい

油野 現在、生薬・薬草を原料として薬品の生産販売をされている会社は、原料となる生薬の約8割が中国から来ているようである。

最近では、日本の生薬の栽培収穫から加工し、会社等への販売まで手がけて生産を育てている地域もある。

我が松前町としても畑作農地等があり、生薬・薬草の育成もこれらの地から生産性を上げる事が考えられるのではないかと、思うが町長の考えは？

町長 生薬、薬草の原料となる薬用作物については、国内需要の拡大が見込まれており、特に北海道は北方系の薬用作物の栽培適地であることや、大規模栽培による低コスト生産の可能性が高いことから、製薬企業は道内における生産拡大に

期待を寄せています。松前町としても新たな取り組み、更には農業経営の多角化を図る観点などから、薬用作物を新たな品目として導入することも十分考えられます。土地もありますので、考える余地は十二分にあると思っております。

しかし、課題も多く、製薬会社との契約栽培であり、取引先の指定する品種栽培加工方法に従わなければ取引の対象にならない。特に取引先の指導を受けなければ栽培することが大変難しい状況の一つです。

2点目として、年間需要量が少なく、国際的な価格変動の影響を受けやすいので、省力化、大規模化を要するという事です。特に現在、日本国内の薬草需要は8割が中国産で占められています。

3点目は、品質によって大きな価格の差が出てくるという事です。

4点目は、薬用植物の栽培を振興した結果、買手手つかない薬用植物が大量に生産され、農家に大きな

損失を与えているケースもあると聞いています。

この4点の課題から、薬用植物の栽培は、買手手となる企業と十分協議して契約栽培を行う必要があると思っております。まず我々も

情報収集のため、松前町における作物の生産、諸条件等を、薬用植物を研究している北海道衛生研究所で調査したいと思っております。

例えば、松前で果物を作る、薬草を作るなど、研修しながらその技術を勉強したいという職員を育てるのも我々の仕事だと思っておりますので、研修に行ってもらえるような体制づくりも必要だと思っております。

最近では、夕張市でセリ科のセンキュウの栽培加工を始めたと聞いています。栽培面積に応じて買い取り額を決めているような状況も承知していますので、我々も勉強していきたいと思



薬草として利用されることもあるクマザサ



セリ科センキュウ



工藤 松子議員

医師との信頼関係をつくり町民の不安を解消できるのか

町 長

積極的に連携を取り、信頼を回復していきたい

工藤 町長選での「松前病院はまかせてください。」の言葉は、八木田副院長の病院長就任により、一步動き出した。しかし、病院長就任は、町長と病院側との意志疎通や十分な話し合いの結果ではなかったと思うが、八木田新病院長の想いをどう受け止めているのか。

1 新病院長との信頼関係をどう構築するのか。

2 医師確保への感触は？

3 町長が職に就いてから4年8ヶ月、松前病院、患者等に対するトウワマはなののか？

4 広報まつまえに「窓」とか「町長室から」とか町長の想いや感想、動向など町民との絆を深める取り組みをし、町民を安心させるべきではないか。

町長 ①院長の意向に可能な限り沿い、医局の先生とも連携していきたいと思っています。

また、医局の先生の意見を聞く場も、これからつくっていきますので、積極的に連携を取り、信頼を回復していきたいと思っています。

②現在医師確保のために町と病院、議会が一体となり、関係機関等への協力要請や、各種ウェブサイトをの求人情報の掲載などに努めています。院長の求める医師は、総合診療医であり、院長の思いを尊重し、進めていきたいと思っています。

院長と一緒に北海道副知事や保健福祉部長他職員を訪問し、新院長の就任などを報告するとともに、道内、医大における北海道の地域枠医師の確保などについて、お願いをしてきました。その他に北海道医師会や札幌医科大学に対して、協力要請を行いました。

しかし、常勤の医師の確保は、多くの時間と労力が必要です。まずは、現在の診療に全力を尽くしていただいている医師の方々の負担を少しでも

も軽減するために、当面の取り組みとして、応援の医師確保に全力を挙げ、現場の苦勞が緩和されるように努力をしたいと思っています。

③工藤議員が言われるトウワマの意味がよく理解できませんが、私は松前が好きです。これまでも、これからもずっと松前町に住み続けるものだと思います。

患者の一人として松前病院で最後を迎えたいと思っています。一人でも多くの町民が私と同じような思いでいてもらえるように、この松前病院をつくるためにも、工藤議員が言われるようなことを感じさせぬよう努めていきます。

④町長として、広報、議会、特別委員会などで、町民に向けて考えを示してきました。直接町長の声を届ける場所として、移動町長室や各種会合等があります。防災無線でも、速やかに放送したつもりです。今後も、町民の皆さんに広く情報を発信したいと思っています。

町の広報は、町長個人の記事を載せるよりも、町民の話題、ニュースを載せるものであります。就任以来、その思いで広報の編集をしています。





西川 敏郎議員

健康産業の芽を生み出せ（温泉休養センターの活用を）

町 長

松前温泉の利用料軽減策について、どんな制度設計が可能なのか検討したい

西川 将来、人工知能やロボットが人の仕事を引き受ける時代となる事が予想される中で社会構造のあり方から個人の生き方、働き方まで急速な変革が進んでいる。

時代背景の中で成長産業に健康と医療が挙げられている。企業や組織の中でも「健康経営で未来に先手を」を旗印に活動を社会に広げ関連するビジネスの芽を見出すべく活発に動いている。当町も基幹産業が不調な今こそ本気で新しい産業の芽を見出すべきと考える。病院も正常に戻りつつある中で健康産業の構築には潜在的可能性があると思うが町長の見解を聞きたい。

手始めに温泉休養センターの活力を高める為にも高齢者に入浴料金の軽減策など検討する気はないか、健康は人の宝の観点から町長に問う。

町長 本来に健康はかけがえないものであると認識しています。少子高齢化が進み、医療費や介護保険の負担が増加することが懸念

されている中で、健康寿命をいかに伸ばすかが大変重要になっていと思っています。また、健康で元気な人が多い町は、それ自体が町の魅力であり、活性化にも繋がると考えています。松前町においても、これま

で各種介護予防事業や健康づくりの取り組みを、各町内会の協力を得ながら実施しています。

健康産業については、医療関連産業、介護関連産業だけではなく、様々な分野で、経済界からも注目されていると認識しています。

松前町としても、多くの町民が、できるだけ健康な状態で、最後まで幸せに暮らせるようなまちづくりに取り組んでいかなければならないと考えています。

また、健康に着目した産業について、例えば、健康に配慮した食生活の改善や高齢者の外出機会を創出するなど、運動奨励の面からも今まで以上に取り組んでいくことを検討したいと考えています。

そこで、温泉の指摘がありました。松前町は、障が



松前温泉休養センター



松前温泉休養センターの浴室

れている状態ですが、松前町では、まだ減免していません。松前温泉の利用料軽減策については、健康づくりの面からも、大変有効な取り組みであると考えていますので、町内の民間施設との調整も含め、どんな制度設計が可能なのか検討したいと思っています。

町政の主人公は皆さんです。 議会を傍聴してみませんか？

(手続きは簡単！傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。)

※次の定例会は3月2日(木)からの予定です。

議会日誌から

25日	15日	4日	4日	13日	19日	7日～9日	7日	5日	3日	3日		
2 回理事会出席 (議長他)	渡島西部四町議会議員連絡協議会第 (議長)	小正月女のまつり出席 (議長)	新年交礼会出席 (議長)	松前消防団出初式出席 (議長)	病院事業辞令交付式出席 (議長)	陸上自衛隊音楽演奏会出席 (議長)	大会出席 (議長)	渡島町村議会議長会行政視察 及び全国町村議会議長会全国 (議長)	松前の森づくり植樹活動出席 (議長)	松前町文化祭開会式及び松前町青少年健全育成推進大会「少年の主張」 出席 (議長)	松前町表彰式出席 (議長)	故秋元貢氏(千代の富士)「お別れの会」出席 (議長)
			1 月		12 月					11 月		

お知らせ

議会映像のブルーレイ・DVDの貸出をしています。

松前町ホームページより議会の会議録が閲覧できます。

議会事務局からのお願い

議長宛の諸行事案内などの文書は、議会事務局へお届け願います

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

字福山248 松前町役場議会事務局まで
電話 0139-42-2275 内線281・282

編集後記

今冬は高病原性鳥インフルエンザが猛威をふるい、飼養鶏の被害は百万羽を超え、さらに野鳥での感染は過去最大となった。全国どこで発生してもおかしくない状況となり、ウイルスの脅威が広がった(農水省発表)。北海道でも清水町で発生し、飼養鶏約28万羽の被害があったが、自衛隊による協力など迅速な対策があり、拡大せず終息した。

近年、地球温暖化の影響ともいわれる感染症(ジ力熱など)が新たな脅威となってきた。また、温暖化に伴って海洋の変化も著しく、海面水温が上昇していることで、水産業にも大きな影響が出てきているようだ。今後、魚の生育地域も変わり、漁獲量の減少が懸念される。加えて海洋酸性化が日本沿岸部で加速しており、海の生態系に悪影響を及ぼし、漁業も打撃を受けることが心配されている。

昨今のサケ、サンマ等不漁と並び、スルメイカ不漁も関連しているのかもしれない。もはや人ごとではない。ヤリイカも早くマイカも連れてきて